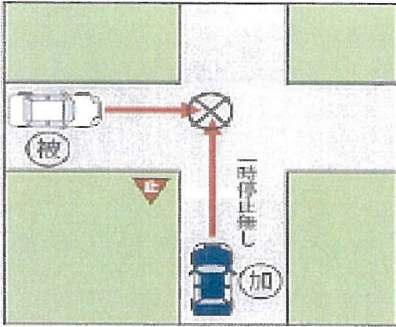


『自動車保険』 掛け方ガイド vol. 11 関連知識編

今回からは以前10回シリーズでご案内しました自動車保険編の続編として【自動車保険の周辺知識】を取上げていきたいと思ひます。

今回は代表的な事故例から、その過失の割合について考えてみましょう。

■ 事例 1

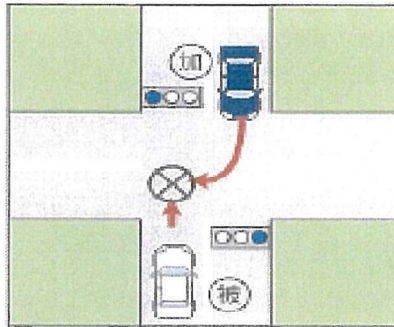


信号のない交差点

加害車両側に一旦停止標識有り
双方直進中に会頭で接触

基本割合/加：80% 被：20%

■ 事例 2

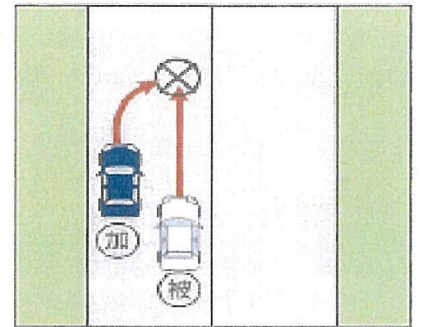


信号のある交差点

双方青信号、加害車両が右折
被害車両は直進

基本割合/加：80% 被：20%

■ 事例 3

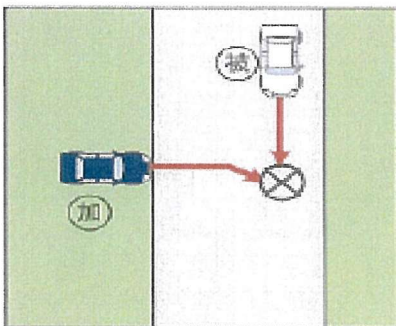


片側2車線道路で同一方向進行

加害車両がウィンカーを出して進路
変更時、後続直進被害車両に接触

基本割合/加：70% 被：30%

■ 事例 4

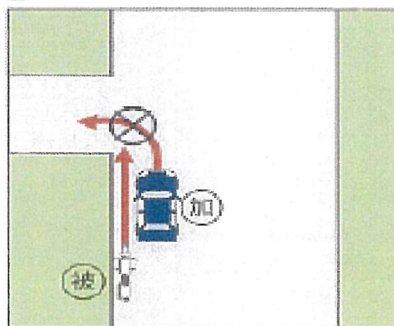


交差点ではない場所での事故

加害車両が路外から右折で車道へ
進入時、直進中の被害車両に接触

基本割合/加：80% 被：20%

■ 事例 5

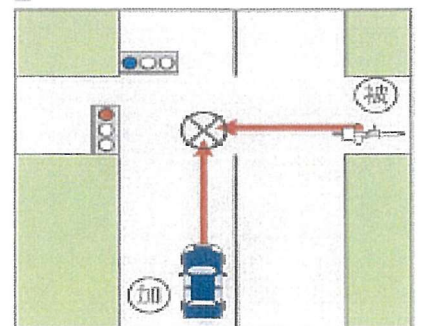


信号のない交差点

加害車両が左折時左後方を直進中
の被害二輪車を巻込む事故

基本割合/加：80% 被：20%

■ 事例 6

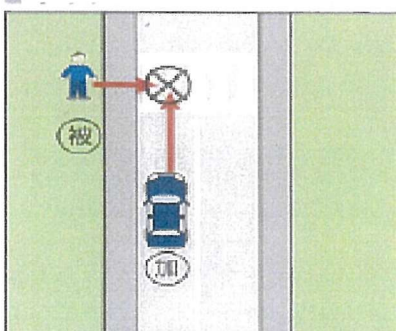


信号のある交差点

加害車両は青信号、被害自転車
は赤信号で会頭衝突事故

基本割合/加：20% 被：80%

■ 事例 7



信号のない横断歩道のある道路

被害者は横断歩道上の歩行者

基本割合/加：100% 被：0%

基本割合からの修正要素

修正要素とは各々の事故において基本割合から調整しうる特別な状況のことをいいます。

例えば・・・

1. 酒気帯び運転や携帯電話を使用しながらの運転の場合
.....+10%程度
2. 被害者が児童や高齢者の場合.....+5~10%程度
などあります。ウィンカーや灯火の有無、速度超過なども状況に応じて調整が必要な場合もあります。